



環境問題に取り組む学生団体 ~ BOLDLINK ~

「BOLDLINK (ボードリンク)」は現役の高校生が立ち上げた、環境問題に取り組む学生団体です。代表の長谷川弘大さんに BOLDLINK 設立の経緯と今後の活動への抱負についてうかがいました。



ビーチクリーンを終えて集合写真

次世代リーダーを育成する会議へ

BOLDLINKのメンバーは、2023年夏に「次世代リーダー養成サマーカーン」と「日本の次世代リーダー養成塾」に参加しました。双方とも全国からハイレベルな高校生が集まっており、一気に世界や視野が広がり、大きな刺激を受けたそうです。

和歌山に戻った後にメンバーで「地域を巻き込んで何か活動したい」という気持ちを持ち合いました。なかでも長谷川さんはテレビで知った海洋汚染の実態に衝撃を受け、身のまわりの環境問題を見渡していなかったことを痛感しました。そこで、メンバーと共に環境問題に取り組むた

め、2023年秋に「BOLDLINK」を設立。本格的に活動を開始しました。

BOLDLINKとは

団体名のBOLDLINKは「果敢に」をあらわすBOLDLYと「つながる」を表すLINKを組み合わせた造語で、未来に向かって果敢に挑む人たちがつながる場にした、という想いを込めて名付けられました。現在メンバーは5名で、全員が高校2年生です。

ビーチクリーンの取り組みへ

BOLDLINKは手始めに和歌山市磯ノ浦でのビーチクリーン活動をスタートしましたが、ごみの多さに驚

きました。「ここまでごみが多いとは予想していなかった」といいます。

人が立ち寄らないところのプラスチックごみを拾っても、1か月後に再び海岸に来ると、またごみがたまっていくそうです。海外から流れてくるごみも多く、SDGs(持続可能な開発目標)を考

えるきっかけとなり、陸と海の両方に目を向けていく必要があると感じました。現在、毎月1回約2時間の清掃活動をおこなっており、小学校低学年の児童や中学生、さらには60代まで、毎回20〜30人が集まります。家族

小中学生への環境教育にも参画

今年3月、智辯和歌山小学校の6年生を対象にSDGsに関する環境授業を行ったのを皮切りに、和歌山市立岡崎小学校や伏虎義務教育学校、さらに海

市内の学童保育2か所にも出向き、講座を実施しました。電車を出会った小学生から「出前講座を聞いて、ごみを減らしたいと思っ

た」と声を掛けられた際は、環境に関心を持ってくれた証として嬉しかったそうです。これからも、環境を大切にしていくことを伝えていきたいので



海岸のごみの様子

「出前講座としてオファーしていただければ」と意欲満々です。

環境問題に向き合う次世代の人材育成へ

BOLDLINKのみなさんは「環境問題に関心を持っていない人も少なくない」と感じています。

しかし、プラスチックごみがマイクロプラスチックとなり魚が食べ、その魚を人間が食べます。さらに空気中にもマイクロプラスチックは浮遊し、知らないうちに吸い込んで、体内に蓄積されていきます。これらは自分たちの健康や未来に関わってくる問題です。

小中学生がビーチクリーンに参加し、海洋のプラスチックごみの現状を見ることで、プラスチック製品の使用削減やごみの分別など、環境に優しい意識を持つてもらえるよう、つないでいきたいと考えています。そうした小中学生から、将来のBOLDLINKを引く張っていくリーダーが生まれることを強く願って、今月もビーチクリーンを開催



小学校での出前講座



「なんだか通学してる学生が減ったような感じがするね」

和歌山県内の人口あたりの高校数は全国平均より多め

一方で和歌山でも高校の統廃合の検討は進んでいる

運営の効率もわかるけど複雑ね

BOLDLINK Instagramはこちら
@BOLDLINK_WAKAYAMA
メール boldlinkwakayama@gmail.com

第17回和歌山地域貢献活動応援基金「わかやまいきいきファンド」助成団体募集

簡易な書類作成で応募可能。「はじめての助成金応募」に最適!

全国の花王グループ社員有志のみなさんが毎月1口50円を任意の口数積み立て、NPO・ボランティア団体の支援や被災地支援などを行なう「花王ハートポケット倶楽部」。

「わかやまいきいきファンド」は、同倶楽部が和歌山県内でがんばるNPO・ボランティア団体を対象とした活動助成をおこなうプログラムです。これまでに約120を超える団体が助成を受けています。

第17回の助成プログラムの助成団体を募集いたします。みなさまの積極的なご応募をお待ちしております。

募集部門

スタートアップ支援事業 活動歴2年未満の団体対象。5万円を4団体に助成します。

パワーアップ支援事業 活動歴2年超の団体対象。10万円を3団体に助成します。

両部門共通事項

- ◆ 応募用紙はA4用紙2〜3枚。補足資料は2枚まで付けられます。
- ◆ 地域コミュニティ活性化につながる内容であれば、活動分野は問いません。
- ◆ 対象事業の実施期間は2025年4月から2026年3月まで。
- ◆ 活動の様子は団体ブログまたはFacebookページでご紹介ください。
- ◆ 2026年5月に事業報告を提出いただけます。

応募方法

わかやま NPO センターのウェブサイト (<https://wnc.jp/works/11664>) から募集要項と応募用紙をダウンロードし、応募用紙に必要事項を記入いただき、ご応募ください。

※特設サイトへは、右のQRコードからもアクセスいただけます

応募方法・締め切り

2024年11月15日(金) 消印有効

応募は郵送・FAX・電子メールのいずれかで受け付けます。

〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12 わかやま NPO センター
FAX 073-423-8355 E-mail info@wnc.jp

応募に関するご相談

書類作成相談は和歌山県 NPO サポートセンター (和歌山ビッグ愛 9階) で承ります。

TEL 073-435-5424 E-mail info@wakayama-npo.jp
オンライン相談もOK! お気軽にご相談ください。

主催 花王ハートポケット倶楽部・花王株式会社
企画運営 認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター
TEL 073-424-2223
(火曜から金曜 10時〜17時、不在時は和歌山県 NPO サポートセンターに転送)
E-mail info@wnc.jp

和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会 だより

まちなか百姓養成塾

日程	11月20日(水) 18:30〜20:00
場所	和歌山市地域フロンティアセンター (フォルテワジマ6階)
内容	有機野菜栽培農家から冬野菜の栽培について学びます
参加費	500円(資料代)
定員	20名
主催	わかやまイネ! プロジェクト
問い合わせ	まちなか百姓養成塾チーム 090-1156-6799 waiprojimu@gmail.com (池田さん)
備考	できるだけ事前に申し込んでください